

NO. 108

# 泉南走ろう会

連絡先 泉南スポーツ社  
0724(83)4653

## 富士登山競走に参加して

会長 透健三

「完走証はどこを探してもない。ないとなれば自分で勝獲らねばならぬ。」

「あーしんど」こんなえらいことしらん「もうへとへと」富士登山競走を目ざして、私の秘密トレーニングとやらを行う。その野を山を駆けめぐることであった。高倉林道や青少年の森からお菊山へ行くコースまた長慶寺の石の階段一〇〇段を上り下りしたり一時間行うことであつた。「えええうい」としらん「なんでこんなえらいのかなあ」「そうだ春から夏にかけてはへびがくるとかいて、夏道を走つたことがない、それを走るからかなあ」すかさず家内は「十年目の富士登山競走ともなれば、そんなこと言つていられるか」と言うことか、そうだへびがねばどけー踏むぞう」と言て走る。現にへびが長々と道に寝そべっている。それを足で蹴とばす。苦しい毎日であつた。

真鍋さん御夫婦も人に聞くと毎日烈

しい練習を行っていること、いづれにして富士登山競走に取組んだのは青土七日小笠島マラソンの時、はな参加してみよふかと決めたので、練習する日が短く、そして六月梅雨であつた。参加前日、宿舎にて「明日は頑張ろう。トレーニングしてきたか」と聞くと真鍋さんは「フエイト、トレーニング、スクワットや腹筋、一日一〇〇回以上行った」とのこと、私が「猿が腕立伏するか、フエイトトレーニングより野山を走ることである」と言うのと、真鍋さんは「そこは人間と猿の違いである」と、明日は頑張る。「完走証を手に入れる」とは、明日、日々に充分注意して頑張るよう、マシも頑張る。

結果は真鍋さん頂上コース、奥さん五合目コースを好タイムにして完走する。奥さん、まだきついコースがあると思つて、せがしなながら走っていたなうほづるであつたとのこと。なかなか立派である。私はまたもや残念至極、巻土重来も乾坤一擲一発逆転もなかつた。ただ、ただ残念である。十年前のタイムより三千分遅い十年のキリヤも年には勝てなかつたが、無念残念、年かなあ、そうは思いたくない。作戦練りなおれ、挑戦するよかくして真鍋さん御夫婦として私、富士登山競走参加、無事完走証を勝獲る。

「ホットニュース」

走ろう会事務局の石橋さん御家族連れで富士山登頂されました。

メンバー 事務局長の石橋さん  
編集長の奥さん  
子役さん 二人

富士山頂より八月七日おにいちゃんに無事登頂を電話されたよし。おにいちゃんは大変喜んでおられました。そして「あんなとこに電話あるのか」と、慎重なる計画と行動は無事登頂をなしたものと思われます。子どもさんには、いや大人にも充分なる自信が出来、お目出とう御座います。心から祝福申し上げます。

一生に残るすばらしい体験でした。みなさんもまた、是非来々挑戦してみようか。

(編集係)



お知らせ

一、八月二十六日 例会日

神鍋高原マラソン参加多数のため  
例会を神鍋マラソンに振替させて  
頂きます。

一、九月九日。例会日 午前九時

。集合場所 新冨神社

。コース 皆と相談して決める。

コースは色々走るつもりありませぬ

一、神鍋高原マラソン参加について

いよいよ神鍋マラソンです。

走ろうか恒例参加のマラソンですの  
で充分トレーニングされたことでしょうか？

＊記録を狙う人、真剣に走らねばならない。

＊完走を狙う人、根性で走らねばならない。

＊参加目的を狙う人、体調に充分注意し、決して無理をしないようにして走らねばならない。

宿舎では大いにダベリ、少し飲みましよう。この反対では駄目です。  
よまダベリよく飲む人もおりますが余り感心しませんなあ。いづれにしろ楽しく神鍋マラソンを走りまじろうよ。例年通り次の要領により参加いたします。よろしく御願いたします。

記

。日時 八月二十五日(土)

。集合場所 午後十二時 新冨駅集合 (JR 阪和線)  
(十二時十五分出発)

。宿泊先 「神鍋屋」粟栖野

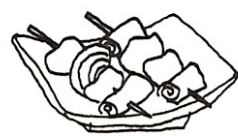
(TEL) 〇七九六四

五一〇〇七

。宿泊費 八十円前後

。その他

二十五日の昼食は各自です。お持ち帰り、弁当持参して下さい。



(交通)  
JR新冨駅 12:15発

大阪駅 14:05 乗車 (北近畿線)

江原駅 16:36着

(注)  
。去年より出発時間が一階層早くなっています。  
。参加票を忘れないように

